

## ＜社会福祉学部社会福祉学科（心理学専攻）のカリキュラムポリシー＞

心理学専攻では、「同朋和敬」の精神のもと、広い知識と専門の学術を身につけ、保健医療分野・社会福祉分野・教育分野など、心理学の専門家として地域社会に貢献可能な人間を養成することを目的として、その実現のためのカリキュラムを編成しています。

自ら課題を見つけようとする姿勢や考え方、クライアントを理解しようとする姿勢、またそれら課題解決の方法や判断について体系的・総合的に学修が進められるようにカリキュラムを組み立てています。

心理学の学問的方法を学ぶために、専門教育科目・教養共通科目・自由科目を配置し、教養、自由の科目を履修することによって、専門性のみならず、応用力、洞察力等を身につけ、総合的な学びができるよう配慮しています。

### 【心理学専攻における4年間の学び】

教養共通科目では、人類の文化・社会・自然についての教養的知識を修得するとともに、多文化・異文化に関する知識を修得し、心理分野において活用できる技能（コミュニケーションスキル、数量的スキル、情報リテラシー等）を身に付け、それらを基に4年間の総合的な学びをします。

#### ● 1年次

「建学の精神」・「社会福祉」を礎とした「心理学」の専門基礎的な学びをします。

科目例) 「生活と福祉」、「人間の尊厳と自立」、「公認心理師の職責」、「心理学概論」等

初年次教育の充実のため、1年次より通年のゼミ（心理学基礎演習）を実施するなど4年間を通じた少人数教育によって、学生のコミュニケーションのレベルアップ、主体性の確立等を図っています。

#### ● 2年次

心理学の方法論を学びます。また、「講義」「演習」によって心理職としての基礎力を高めます。

科目例) 「心理学研究法」、「心理学統計法」、「心理学実験」、「心理的アセスメント」、「心理的支援法」、「臨床心理学概論」、「発達心理学」、「知覚・認知心理学」等

#### ● 3年次

心理学の専門性を高める学びをします。具体的は演習によって体験的な学びをし、4年次に保健医療・福祉・教育の各分野で実施される心理実習のための準備をしていきます。

科目例) 「心理演習」、「健康・医療心理学」、「福祉心理学」、「教育相談」等

#### ● 4年次

心理学の学びの集大成として現場実習、卒業研究に取り組みます。特に「心理実習」を重視し、クライアントの内面を理解し、様々な分野の人と協働・連携して実践的に取り組むことのできる力を高めることをめざしています。

科目例) 「心理実習」「卒業論文」「論文指導」等